

日本発ドイツ便り～BIO 流行り～

食の安全性で大騒ぎの日本。

以前もちょっと触れましたが、ドイツでは、BIO(バイオじゃなくてビオと読みます)の製品が大人気。BIOというのは、「自然農法」で育てられた野菜や果物や穀物で、農薬や化学肥料は使わない。というものです。(対象の産物には下記のようなマークが付いています。右側のものはどうもヨーロッパ統一のマークのようです。もちろんその国の言葉で書かれています)



お値段は通常の野菜や果物の 1.5 倍から 2 倍とまだまだ高いですが、この数年 BIO 商品の売り上げは右肩上がり。昨年あたりから、BIO の素材だけで作ったパンやお菓子もどんどん販売されるなど、BIO 製品の勢いはすごいです。

年始にレープクーヘン(Lebkuchen:フランケン地方のクリスマスのころに食べるお菓子。)を買いに行ったとき、「これが今年の新商品よ！」と強力にお薦めされたのも BIO でしたし、あらゆるところで「BIO」の商品が販売されていました。



某所市場で見つけた BIO 素材だけで作ったパンとお菓子のお店。(お店の人のいわく、BIO じゃなくて、完全に自然のものばかりよ！と熱く語ってくれました。)素朴ですが、噛むごとに素材の味がきちんとする素晴らしくおいしいパンでした。(お菓子も本当に家で作ったみたいな素朴なものですが、おいしいです。)まあ、もともとドイツのパンは、素朴だけど、癖になる味ですが・・・。

ちなみに関係ないですが、ドイツのパン屋さんでの買い物方法です。

日本では、自分で好きなパンをトレーに載せてお会計、というパン屋さんがほとんどですが、ドイツでは写真のようにショーケースがあって、対面販売がほとんどです。

菓子パンのように一個いくらのものは、指でもさして、1個とか2個とかいけばいいのですが、問題は、写真の後ろの棚にあるような大型のパン！大きいものでは、ひとつ2キロとかそれくらいあるものもあります。そんなたくさんいらない!もちろんです。

「あのパンを半分」とか「4分の1」とか「300グラム」とかそれでもOK.

もっと究極の買い方は、「あのパン〇〇切れ！」これでもOK。スライスしてグラムを計って売ってくれます。私も最初買い方がよくわからずに、200グラムとかなんとか言って買っていたのですが、ある日、お隣にいたおばあさんが勢いよく「そのパン2切れちょうだい！」と言ったのです。なんて合理的なんだ!と目から鱗が落ちました。+軽く感動さえ覚えました。(ちょっと大げさ?)

一本とか半分とか、かたまりで買う場合は必ず「スライスしますか？」と聞いてくれるので必要であればスライスしてもらいます。

突然ドイツのパン屋攻略法でした。覚えていればいつか役に立つ日が来るかもしれません。



また BIO の話に戻りますが、数ある BIO 製品で今一番全国的に知られているのがこの BIONADE(ビオナーデ)だと思います。ドイツで発明というか開発された有機発酵させた炭酸飲料です。名前の由来はおそらく BIO+NADE(レモネードのことをドイツでは LIMONADE といいます。果汁を炭酸水で割った、というイメージでしょうか？ドイツではよく、りんごジュースを炭酸水で割って飲みます。ビールをレモネードで割って飲むという飲み方もあるんですよ。暑い時には、喉の渴

きがおさまってよいのです。)だと思えます。この BIONADE、ビールと同じように麦芽を発行して製造するのだそうです。味はライチ、オレンジなど 5 種類で、1995 年に開発されて以来、BIO ブール、オーガニックブームの後押しもあり、ものすごい勢いで売れています。なんと、昨年には、マクドナルドとの販売契約も結んだそうで、ドイツ発の健康飲料、これから世界へ！という感じですね。

今度こそ飲んでやろうと思って探していたのですが、なぜかなかなか見つからず、帰国直前、某空港ラウンジで、やっとお目にかかれました。ライチ味を試してみたのですが、甘すぎず、すっきりしておいしいです。食事のときに飲んでもあんまり邪魔しない感じです。予想通り、果汁を炭酸水で割ったイメージでした。他の味も試してみたかったのですが、さすがに何本も飲めるわけではないので、また次の機会に。

ところで、こうやって書いていると、ドイツやオーストリアでは、国民総 BIO 嗜好のように見えないでもないですが、もちろんそんなことはないです。かなりうる覚えではありますが、昨年オーストリアで行われた調査では、「安全のためになら多少の高いお金を払ってもよい」に YES と答えた人よりも「多少不安があっても安いほうがいい」と答えた人のほうが多かった(30%と 65%位の割合だったと思います)という結果が出ていたのを興味深く読んだ覚えがあります。同じ調査を今日本でやったらどんな結果が出るでしょうね？

ドイツをはじめ、海外の市場で並ぶ野菜や果物を見ていて+食べて気がついたことですが、日本の市場で売られている野菜や果物、「異様に」きれいで形や大きさ、そして味が整いすぎているということ。

日本でも有機栽培の野菜や果物も売られてはいますが、まだまだ値段も高いし、どこでも買えるというものではなく、なんとか「特別な人のためのもの」というイメージですよ。

食の安全性が大問題になって見えてきたこと。日本の消費者が求めているのは、形や色がきれいで安くて美味しく安全な食品。どこか矛盾していませんか？某国の商品や製品を買わない!と簡単に言うてしまう前に、何が一番大事なのか？そのためにどこを妥協できるのか？消費者もちゃんと考える必要があるのではないかと今この頃です。

皆さんもちょっと考えてみませんか？